掲載日:2014年10月15日,面名:U40XX0,記事ID:K201410150A0U40XX00006

(C)河北新報社

学院大連勝2位

宮教大、2季ぶり勝ち点

仙台六大学野球

仙台六大学野球秋季リーグ（仙台六大学野球連盟、河北新報社、東北放送主催）最終日は13日、仙台市の東北福祉大球場で宮城教育大―東北工大、仙台大―東北学院大の各3回戦があり、宮教大、学院大が勝って勝ち点を挙げた。

勝ち点4の学院大が2位、同3の仙台大が3位。2季ぶりに勝ち点を挙げた宮教大は5位、工大は23季ぶりの単独最下位に転落した。

個人記録の統計開始以来、リーグ通算最多安打記録を更新した学院大の井上信志内野手（4年）は2安打を放ち、記録を103安打に伸ばして全日程を終えた。

試合後の閉会式で、ベストナインと個人賞の発表があった。リーグ2位の打率4割を残し、最多の11盗塁を記録した福祉大の鈴木光外野手（3年）が最優秀選手に選ばれた。ベストナインは6人が初受賞。仙台大の薄井新（3年）は2012年春に三塁手での選出を含め、3度目の受賞となった。

福祉大、学院大、仙台大の上位3校は明治神宮大会（11月14～19日）出場を懸けた東北地区代表決定戦（25～27日・花巻球場）に出場する。

◇仙台六大学野球秋季リーグ勝敗表（全日程終了）

	福祉大	学院大	仙台大	東北大	宮教大	工大	試合数	勝数	負数	勝ち点	勝率
①福祉大	⚾	2	2	2	2	2	10	10	0	5	1.000
②学院大	0	⚾	2	2	2	2	12	8	4	4	.667
③仙台大	0	1	⚾	2	2	2	11	7	4	3	.636
④東北大	0	1	0	⚾	2	2	13	5	8	2	.385
⑤宮教大	0	0	0	1	⚾	2	12	3	9	1	.250
⑥工　大	0	0	0	1	1	⚾	12	2	10	0	.167

◇ベストナイン

投	城間　竜兵	（福祉大2年、青森・光星学院高出）	初
捕	千葉　義浩	（福祉大4年、宮城・東陵高出）	初
一	楠本　泰史	（福祉大1年、埼玉・花咲徳栄高出）	初
二	宮本　涼	（福祉大4年、岩手・一関学院高出）	②
三	井上　信志	（学院大4年、仙台育英高出）	③
遊	薄井　新	（仙台大3年、栃木・矢板中央高出）	③
外	鈴木　光	（福祉大3年、福島・会津高出）	②
	井沢凌一朗	（福祉大2年、京都・龍谷大平安高出）	初
	鳩原　翔	（東北大1年、仙台二高出）	初
DH	伊藤　寛伸	（工大4年、宮城・古川学園高出）	初

◇投手成績（全日程終了）

	防御率	投球回	勝数	敗数	被安打	奪三振	四死球	自責点
①城間　竜兵（福祉大）	1.14	39⅓	4	0	26	28	7	5
②本田　圭佑（学院大）	1.61	44⅔	4	2	19	37	8	8
③熊原　健人（仙台大）	1.62	39	2	2	30	35	17	7
④野口　亮太（仙台大）	1.65	27⅓	3	1	15	27	8	5
⑤影浦　雅人（仙台大）	1.96	23	1	1	20	12	10	5

◇打撃成績（全日程終了）

	打率	打数	本塁打	安打	打点	犠打飛	盗塁
①千葉　義浩（福祉大）	.476	21	0	10	7	5	1
②鈴木　光（福祉大）	.400	30	0	12	10	2	11
③鶴田　剛也（仙台大）	.360	25	0	9	4	1	0
④宮本　涼（福祉大）	.344	32	0	11	6	1	1
⑤鳩原　翔（東北大）	.341	41	0	14	3	1	2

最優秀選手 福祉大・鈴木

◇個人表彰

▷最優秀選手　鈴木光（福祉大3年、福島・会津高出）

▷首位打者　千葉義浩（福祉大4年、宮城・東陵高出）＝4割7分6厘

▷最多打点　小山尚哉（学院大3年、山形中央高出）＝13打点

▷最多本塁打（3本以上）該当者なし

▷最多盗塁　鈴木光＝11個

▷最優秀新人賞　鳩原翔（東北大1年、仙台二高出）

▷敢闘賞　本田圭佑（学院大3年、宮城・東北学院高出）

▷特別賞　相馬菜摘、山口沙織（仙台六大学野球連盟）井上信志（学院大4年、仙台育英高出）

◇今季達成したリーグ記録

▷優勝回数　福祉大65回

▷無安打無得点試合　熊原健人（仙台大3年、宮城・柴田高出）＝13人目、学院大1回戦

▷個人通算最多安打記録　井上信志＝103安打

福祉大・鈴木（最優秀選手）

「打撃、走塁、守備で自分の持ち味を出そうと心掛けた結果だと思う。（10打点を稼ぎ）好機で一本打てたことがうれしかった」

学院大 競り勝つ

仙台大―学院大3回戦（学院大2勝1敗）

仙台大	000	100	000	1
学院大	000	010	01×	2

〔勝〕本田6試合4勝2敗

〔敗〕熊原5試合2勝2敗

【評】学院大が競り勝った。1―1の八回1死三塁、佐藤翔の右前打で決勝点を挙げた。先発本田は1失点完投。仙台大は四回に先制したが、五回以降は1安打に抑えられ、粘投した先発熊原を援護できなかった。

学院大・本田（無四球完投）「先制を許した後に追加点を与えなかったのが良かった。最近は四球をきっかけに失点していたので、無四球を強く意識した。3日間で2度完投し、春に比べスタミナが付いてきた」

仙台大	打	安	点
(三)松本	4	0	0
(右)郷古	3	1	0
打　千葉	1	0	0
(指)根深周	3	0	0
(遊)薄井	4	2	0
(左)五十嵐	1	0	1
(一)奈良崎	3	0	0
(捕)坂東	3	0	0
(中)加藤大	3	0	0
(二)庄司祐	3	0	0
振球犠併残 40313	28	3	1

学院大	打	安	点
(三)井上	4	2	1
(捕)嵯峨	3	0	0
(指)奥山	4	2	0
(右)小山	3	0	0
(一)佐藤翔	4	1	1
(中)山本祐	4	2	0
(左)工藤	4	0	0
(二)高橋	2	0	0
(遊)小野智	3	2	0
振球犠併残 61208	31	9	2

〔三〕井上〔二〕小野智、薄井、奥山〔盗〕高橋〔失〕井上、庄司祐、薄井〔時〕2時間16分

投手	回	打	安	責
熊原	8	34	9	0
本田	9	31	3	1

宮教大 逃げ切る

宮教大―工大3回戦（宮教大2勝1敗）

宮教大	000	050	010	6
工　大	000	011	110	4

〔勝〕遠藤8試合2勝4敗

〔敗〕菊地8試合2勝5敗

【評】宮教大の打線がつながった。五回1死満塁、千葉、丹野勝、佐藤大の3連続適時打で5点を先取。3点差に詰められた八回には千葉の内野安打で1点を加えた。工大は五回以降に計4点を返したが、五回の5失点が響いた。

宮教大・丹野勝（走者一掃の三塁打）「前の打席で直球が多かったため、かわしてくる変化球を狙い打った。投手の踏ん張りに何とか援護したかった。各自が狙い球を絞って菊地投手の対策を立てたため、打線がつながった」

宮教大	打	安	点
(中)小野寺真	5	0	0
(二)米	4	1	0
(遊)千葉	5	3	2
(三)丹野勝	5	2	3
(指)佐藤大	5	2	1
(右)石川	5	2	0
(左)早坂	5	1	0
(捕)飯田	5	3	0
(一)山口	1	0	0
一　宮本	2	2	0
振球犠併残 411111	42	16	6

工　大	打	安	点
(中)崎山	3	0	0
(右)沼田	4	1	1
(二)佐藤裕	3	1	1
(指)伊藤	3	1	0
(三)佐竹	3	1	0
(一)鈴木勇	4	1	0
(左)植田	4	3	1
走　間枝	0	0	0
(捕)吉田	2	1	1
打　滑川	1	0	0
(遊)黒川	2	0	0
打　小野寺	0	0	0
遊　加藤	0	0	0
打　鈴木稔	1	0	0
振球犠併残 14205	30	9	4

〔三〕丹野勝、石川〔二〕飯田、植田、千葉〔失〕黒川、遠藤〔暴〕若生〔ボ〕遠藤〔時〕2時間30分

投手	回	打	安	責
梶川	3	10	2	0
遠藤	6	26	7	3
菊地	6⅓	32	12	5
若生	2⅔	12	4	1